

## 2016年度 第3回自然学習講座

# 生物多様性に優れた自治体とは

昨年末、全国の自治体の生物多様性の現状と取り組む状況を評価し、全国初の生物多様性自治体ランキングが公表されました。

これは「都市の緑地生物多様性指標研究会」と「三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)」が、国土交通省の「都市の生物多様性指標(簡易版)」を基にして、665の自治体の生物多様性の保全に向けた取り組み状況を分析評価したものです。今回、実際に本調査に加わった沼田壮人さんに全国の自治体と取り組み状況や豊中市の評価などのお話をさせていただき、これからの課題を考えたいと思います。

### 【ニュースリリース】全国初、生物多様性に優れた自治体ランキングを公表

～世界的にも先駆的な成果として、全国各地の665自治体を共通指標で評価～

全文紹介

2016年11月30日

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社(本社：東京都港区、代表取締役社長：藤井 秀延)は、都市の生物多様性指標研究会(座長：森本幸裕京都学園大学教授)とともに、自治体の生物多様性の現状と取り組み状況を評価し、全国初となる生物多様性に優れた自治体ランキングを作成しましたので、お知らせいたします。生物多様性の政策研究において、665もの自治体(市町村)を共通指標で評価することは世界的にも珍しく、先駆的な成果といえます。

#### 1. 調査結果の概要

自治体の生物多様性保全の取り組み状況を評価する指標群で1位となったのは、埼玉県戸田市、神奈川県川崎市、兵庫県神戸市・伊丹市の4自治体でした。また、生態系の豊かさや便益を評価する指標群で1位となったのは、栃木県茂木町・那須町、岐阜県恵那市、大阪府能勢町、兵庫県猪名川町、奈良県宇陀市、広島県竹原市の7自治体でした。

自治体の取り組み状況の評価結果は、生物多様性地域戦略を策定している自治体において明らかに全体よりも高い平均点となっており、行政計画の重要性が明らかとなりました。エリア別にみると、関東、近畿、中部の自治体が、生物多様性保全の取り組みに積極的である傾向が明らかとなりました。また、財政規模が大きくなるほど取り組み状況の平均点が高くなる傾向がうかがえました。



講師：沼田 壮人さん

(画像は三菱UFJリサーチ&コンサルティングホームページより引用いたしました。)

◆日時：2017年3月4日(土) 14:00~16:00

◆場所：豊中市立 eMIRAIE 環境交流センター  
(阪急曾根駅下車、北へ徒歩5分)

◆講師：沼田 壮人 さん

(三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 主任研究員)

◆定員：40人 ◆参加費：無料

◆その他：当日会場でも受付します。保育はありません。  
公共交通機関をご利用ください。



#### ◆申込み・問合せ

とよなか市民環境会議アジェンダ 21

TEL：06-6844-8611 (eMIRAIE 環境交流センター内)

主催 NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ21 自然部会  
(この事業は環境交流センター指定管理事業として実施します)